

令和7年度第1回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

(1) 開催日時 令和7年（2025年）5月12日（月）

午後2時30分～午後3時30分

(2) 開催場所 宝塚市役所 4階 大会議室

(3) 出席者

- ・景観審議会デザイン協議部会委員

田中委員、澤委員、高木委員、山根委員、高橋委員、永尾委員

- ・宝塚市景観審議会デザイン協議部会の設置及び運営に関する規程第3条第2項により出席を求める者（景観審議会委員）

飯畑委員、片岡委員

- ・事務局（都市整備部 都市計画課）

吉田部長、黒川次長、河本課長、白川係長、武田係長、世良職員

- ・事業者

議事① 事業者 清荒神アーバンライフ管理組合

設計者 株式会社 日昌工業

(4) 議 事

議事① 清荒神アーバンライフ大規模修繕工事に伴う色彩変更

(5) 傍聴者

議事① 0名

2. 会議の要旨

事務局： 本日のデザイン協議部会は、委員8名中6名の出席があり、委員の2分の1以上が出席していますので、宝塚市景観審議会デザイン協議部会の設置及び運営に関する規程第5条及び、宝塚市景観審議会規則第6条第2項により、会議が成立している旨を報告します。

また、同規程第3条2項により、景観審議会委員を含めた合計8名の方にご審議いただきます。

また、宝塚市景観審議会の運営に関する規程第3条1項により、本日の議事は全て公開となっています。傍聴者があれば入室を承認しますが、傍聴者はいらっしゃいません。

会 長： 本日の署名委員は、4番澤委員と8番山根委員です。

★★★ 清荒神アーバンライフ大規模修繕工事に伴う色彩変更工事 ★★★

会 長： それでは、景観に配慮した点についてご説明をお願い致します。

事業者： 今回の建物は、築４７年となります。１０年前にも大規模修繕をしていますが、その際は、新築時と同じ色で塗り替えをしています。

今回は、居住者の方へのアンケートなどの結果、現況とは違う色彩で計画をしています。市の基準の範囲内で、かつ居住者の方からも９割超の賛同をいただいている状況です。

設計者： 今回建物は、１０階建ての共同住宅です。隣接するベガホールを含め、周辺に茶系の建物が多いので、茶系を基調とした色彩を提示させていただいております。候補としては、グレー系などもありましたが、アンケートなどの結果、この色彩になっています。

現況の色彩は、白に近いアイボリー系の色です。白は汚れが目立ちやすいということもあり、少し暗めの色での塗り替えをしたいという意向もあります。

また、エレベーターシャフト部分は、外壁より明度を落とし、アクセントとする意匠にしています。螺旋階段、廊下、バルコニーの手すりなども、外壁色と同じ色相とし、全体としてまとまるように配慮しました。

今回、それぞれ色見本も持参しましたので、参照いただければと思います。

会 長： 清荒神駅徒歩５分ということで、とても良い立地ですね。今回は、外壁の塗り替えの案件です。委員の皆様、ご意見等お願いします。

委 員： 周辺との環境と調和するように配慮したという旨を資料に記載いただいています。具体的には、どのようにして検討されたのかご説明いただけますか。

設計者： パノラマで写真を撮って、周辺の景観を見ながら考えたというところです。理事会で協議をしながら、周囲と比較してみると、現況が少し白っぽいという認識を持ちました。隣接するベガホールが明るいレンガ色なので、それとの調和があるといいのではとないかと考えたという次第です。

会 長： 所有する建物の色彩を検討する際に、周囲との関係を考えながら、理事会で協議されるという事例は、非常に珍しいのではないのでしょうか。周辺との調和に重きをおく宝塚らしさを感じますね。是非、今後他の事例に繋がっていけば

いいなという事例です。

今回の協議資料の中にも、検討過程で使用した周辺との関係性がわかるような写真があれば、とても良かったかと思います。その中で、現況よりも、塗り替え後の方が、より周囲に馴染むのではということが分かれば、非常に説得力もあります。

委員： 資料の中に、屋外広告物はないという記載がありますが、写真を見ると、現況では壁面にマンション名のサインがあります。この部分は、どうなりますか。

設計者： これは、かなり古いものですので、今回撤去します。

委員： 先ほどベガホールの話があり、調和を意識していただいたということでしたが、色彩をもう少し細かく見ていくと、計画されている色彩とベガホールの色彩は、少し印象が違います。このあたりについては、どのように考えられたのでしょうか。

設計者： 候補の色彩案には、もう少しベガホールに近似した案もありましたが、アンケートなどで選ばれた案が、こちらになった、という経緯です。
現況の色彩と、ベガホールに近似した色彩の中間の案が選ばれたのかなという風に思います。

委員： 計画されている外壁の色彩は、明度6で、これは肌色より暗い色です。また、外壁色だけでなく、エレベーターシャフトや屋外階段も暗い色彩で、また、北側なので、少し暗すぎる印象になることを懸念します。

例えば、エレベーターシャフトだけでも、もう少し明るい色にすると、印象が変わると思います。他にもいくつか、少し変えていただだけでも全体的に良くなるのではないかという点がありますが、この色彩は、変更の余地がないのでしょうか。

設計者： 住民の方の合意形成が済んでしまっているので、色彩を変更するのは、難しいというのが、正直なところです。

委員： そうしますと、先ほど会長の意見にあったように今回の検討資料や、協議の履歴をしっかりと残していただいて、今後に活かせるようにしてほしいなと思います。

また、今回の計画地は JR や阪急の車窓からの見え方も大切だと思います。
そのあたりも、検討事項として認識いただければありがたいです。

設計者： 阪急からは、ベガホールの建物の隙間から一瞬見えるかなという程度になると
思います。JR からは、車窓から視認はされると思いますが、電車が加速
しているので、あまり認識されるような見え方にはならないという風には思
います。

会 長： そうなんですね。ただ、車窓から見える景観は非常に重要ですし、立地と
して、景観上の影響が大きいということかと思います。

他にご意見等はありませんか。

ないようですので、議事 1 の審議はこれまでとします。

本日の景観審議会デザイン協議部会はこれで終了とします。